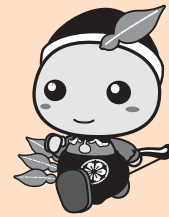


平成22年度決算報告

歳入 101億3,312万2千円

歳出 97億9,985万6千円



もろ丸くん

もろ丸くんの
家計簿をボクが
チェックします！

平成22年度決算が9月定例町議会で承認されました。決算は、私たちが納めた税金が、まちづくりや暮らしの中で、どのように活かされてきたのかをまとめたものです。平成22年度はどのようなことに町のお金を使ったのかを報告します。

一般会計

■一般会計歳出

(単位/千円)

項目	22年度決算	対前年度増減額
民生費	31億1,586万6	6億1,982万9
総務費	16億3,889万3	△2億3,802万6
土木費	13億5,368万2	1億8,401万2
教育費	11億5,128万2	7,547万6
衛生費	7億6,207万6	△4,411万4
公債費	7億3,939万1	△64万8
消防費	5億7,563万8	△1,698万1
農林水産業費	1億4,026万9	△402万6
その他		
・議会費	9,676万7	△242万8
・商工費	4,395万9	△289万5
・労働費	3,073万0	△338万8
・災害復旧費	0	0
・諸支出金	1億5,130万3	△1億 80万8
合計	97億9,985万6	4億6,600万3

町民1人あたりに使われるお金は合計27万2,733円です。

民生費 86,716円	教育費 32,041円	消防費 16,020円
総務費 45,611円	衛生費 21,209円	農林水産業費 3,904円
土木費 37,673円	公債費 20,577円	その他 8,982円

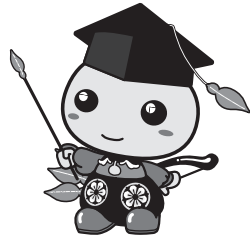
■一般会計歳入

(単位/千円)

	項目	22年度決算	対前年度増減額
自主財源	町税	37億4,671万8	△1億3,667万9
	繰入金	2億2,172万4	△1,426万1
	繰越金	2億1,983万8	△5億9,299万6
	その他		
	・分担金及び負担金	1億1,459万0	△964万7
	・使用料及び手数料	5,989万6	△948万8
	・財産収入	5,905万7	3,286万9
依存財源	・寄附金	58万2	△53万0
	・諸収入	1億1,647万5	1,040万0
	地方交付税	17億6,115万5	2億4,615万8
	町債	11億6,967万5	3億8,287万1
	国庫支出金	13億 60万9	4億 850万4
	その他		
	・県支出金	7億4,185万5	2億7,559万1
	・地方消費税交付金	3億1,706万2	△54万5
	・地方譲与税	1億 721万6	△317万2
	・地方特例交付金	5,872万4	421万9
	・自動車取得税交付金	4,123万9	△651万7
	・ゴルフ場利用税交付金	6,918万0	△609万4
	・利子割交付金	1,284万4	△156万4
・株式等譲渡所得割交付金	231万7	△62万7	
・配当割交付金	690万0	140万6	
・交通安全対策特別交付金	546万6	△46万7	
合計		101億3,312万2	5億7,943万1

平成23年3月31日現在の人口 3万5,932人で算出

もろ丸くんの 家計簿子エック!



もろ丸くん

平成22年度は、昨年度より歳入も歳出も多くなっているよ。これは、子ども手当、私立保育所等緊急整備などの新規事業に関する歳入と歳出が増えたからなんだ。

では、具体的に平成22年度はどんなことにお金を使ったのか、ボクと一緒に歳出を見ていこう!

まず、前年度との比較を見てみよう。はじめに、民生費。前年度と比べると6億円以上増えているよ。これは、子ども手当、私立保育所の整備補助を新たに行ったからなんだ。次に土木費。町道の整備事業量が増えたり、武州長瀬駅北口周辺地区を整備していることから、前年度よりも1億8千万円以上の増額となったよ。また、教育費も前年度と比べると7千万円以上増額しているけど、これは泉野小学校と川角中学校の校舎耐震補強工事を実施したからなんだ。

続いて、平成22年度決算額全体を見てみよう。歳出が最も多いのは、何といっても民生費だね。民生費は、こども医療費、子ども手当などの子育て対策や、介護、障害者への給付金などに使われているよ。つまり、誰もが安心して暮らせるまちづくりには欠かせないお金なんだ。みんなが納めた大切な税金だから、有効に使わなくてはいけないんだね!

平成22年度の町民1人あたりの 町税の負担額は10万4,272円です。 内訳は…

・町民税	51,370円
・固定資産税	42,329円
・町たばこ税	5,483円
・都市計画税	3,530円
・軽自動車税	1,560円
・入湯税	0円
・特別土地保有税	0円

※都市計画税とは、都市計画事業または土地区画整理事業の費用に充てるため、市街化区域内に所在する土地および家屋を所有する人に課税されます。平成22年度の都市計画税の決算額は1億2,683万4千円で、公共下水道事業などに充てられました。

平成22年度の主な事業

住民と行政の協働によるまちづくり

住民が正確な情報を共有し、隣近所で活発な住民活動が展開でき、さらに男女共同参画や住民の交流活動を促進し、簡素で効率的な行財政運営や広域的なまちづくりを進めます。

■コミュニティ施設特別整備事業補助金	933万9千円
■広報印刷事業	629万5千円
■区運営費補助金	427万円

健康で安心して暮らせるまちづくり

地域における支え合いを基盤として、一人ひとりに対応できるきめ細やかな健康づくり活動や、少子高齢社会などに対応する福祉活動を支援します。

■私立保育所等緊急整備事業補助金	2億4,948万円
■子ども手当等扶助費	5億6,822万5千円
■介護給付費・訓練等給付金	2億4,919万3千円

自然と共生した安全で快適なまちづくり

美しい景観づくりや水辺環境の創造を進め、また、防災対策の充実をはじめとし、防犯活動や交通安全などを住民と協働して推進し、環境に配慮した快適な生活の実現を支援します。

■埼玉県全国瞬時警報システム整備工事	572万2千円
■埼玉西部環境保全組合負担金	4億359万8千円
■武州長瀬駅北口周辺地区整備事業	4億3,390万8千円

元気に仕事ができるまちづくり

農林業、観光、商工業の振興支援や、住民などが取り組む企業活動を支援します。

■農道・用排水路等整備事業	3,139万4千円
■観光事業	1,282万1千円
■商工会補助金	754万円

学びを未来に活かすまちづくり

生涯学習の支援や、一人ひとりに応じた教育の充実を図るため、家庭、地域、幼稚園、保育園、小学校、中学校間の連携と、本町ならではの特色ある教育を推進します。

■生徒指導・教科指導支援員事業	3,306万3千円
■泉野小学校校舎耐震補強工事	4,205万3千円
■川角中学校校舎耐震補強工事	6,304万4千円

特別会計

バランスシートの

用語解説

負債の部

資産を形成するために借り入れた資金などで、将来の世代が負担しなければならないものです。

固定負債 町が借り入れをしている地方債の翌々年度以降の償還予定額です。退職手当引当金は、年度末に全職員が普通退職した場合に支払う退職金の額を負債として計上しています。

流動負債 地方債のうち翌年度の償還予定額などです。

純資産の部

資産と負債の差額で、これまでの世代によりすでに負担されたものです。

公共資産等整備国県補助金等 国・県から受け入れた資金です。

公共資産等整備一般財源等

資産形成に用いた財源のうち、国県からの資金および地方債以外のもの。

資産の部

これまでの行政活動によって形成された町の経営資源となるものです。

公共資産 町役場庁舎や公民館などの建物や付属設備、橋や道路の舗装などの構築物、町の所有している自動車や土地などを行政目的別に表示しています。土地を除き、施設の耐用年数に応じて減価償却を行っています。

投資等 土地開発公社や川越総合卸売市場への出資金や、公共施設整備基金などの特定目的基金と土地開発基金などです。退職手当組合積立金は、退職金の支給に備えて町が加入している埼玉県市町村総合事務組合の資産の持分相当額です。

流動資産 現金・預金のほか一年以内に現金化することが可能な基金と町税などの未収金です。

国民健康保険 特別会計

安心して医療を受けることができるように保険制度の維持・運営に使われました。

3億861万4千円を平成23年度に繰り越しました。

- 歳入 44億5,418万9千円
- 歳出 41億4,557万5千円

介護保険 特別会計

介護を必要とする人や、介護予防が必要な人が安心して生活を送るために使われました。

3,948万9千円を平成23年度に繰り越しました。

- 歳入 16億1,294万9千円
- 歳出 15億7,346万円

老人保健 特別会計

平成20年3月診療分以前の月遅れ請求分について、老人保健法による保健給付を行いました。

なお、平成23年3月31日をもって設置義務が無くなったことに伴い終了しました。

- 歳入 1,081万円
- 歳出 1,081万円

水道事業会計

日常生活に欠かせない生活用水を安定供給するために使われました。

- 水道事業収益（水道料金など） 7億6,998万9千円
- 水道事業費用（水道施設維持管理、県水受水費など） 7億1,763万1千円
- 消費税分を差し引いて3,481万8千円の純利益となりました。
- 資本的収入（国庫補助金など） 4億998万5千円
- 資本的支出（建設改良費など） 8億3,060万8千円

4億2,062万3千円の不足は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額と過年度分損益勘定留保資金、減債積立金、建設改良積立金で補てんされました。

毛呂山町の特別会計は、国民健康保険、介護保険、老人保健、後期高齢者医療、農業集落排水事業の5つの特別会計と、企業会計の水道事業会計があります。



もろ丸くん

後期高齢者 医療特別会計

高齢者が安心して医療が受けられるように、制度の維持・運営に使われました。

568万6千円を平成23年度に繰り越しました。

- 歳入 2億5,044万円
- 歳出 2億4,475万4千円

農業集落排水 事業特別会計

農村地域の生活向上のため、排水処理施設の整備を行いました。現在、主要な事業が終わり、主に維持管理を行っています。

730万5千円を平成23年度に繰り越しました。

- 歳入 3,087万9千円
- 歳出 2,357万4千円